



平成 28 年 8 月 2 日

各 位

会社名：株式会社 ダイナック
代表者名：代表取締役社長 若 杉 和 正
(コード番号：2675 東証第二部)
問合せ先：取締役 管理統括本部長 管理本部長
法務・総務部長 保 坂 孝 徳
(電話：03-3341-4216)

平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 5 日に公表した平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績の差異（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）
(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	17,800	280	270	60	8 円 53 銭
今回実績 (B)	17,391	161	159	△73	△10 円 44 銭
増減額 (B-A)	△409	△119	△111	△133	—
増減率 (%)	△2.3	△42.5	△41.1	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期)	17,387	213	209	△2	△0 円 29 銭

2. 業績予想と実績との差異の理由

当第 2 四半期の業績につきましては、売上面では「倶楽部ダイナック（顧客会員カード）」の WEB 会員登録キャンペーン等の様々な販売活動を行ったものの、来客数の伸び悩み等により予想値を下回りました。営業利益及び経常利益は、原材料価格の高止まり、人材不足による人件費の上昇等の影響により、また四半期純利益は、商況の変化に合わせた業態変更及び撤退等の迅速な判断を行い、特別損失に店舗等撤退損失を計上したこと及び平成 28 年度税制改正による法定実効税率の引き下げに伴い、繰延税金資産の取崩しを実施したことにより法人税等調整額（税金費用）が増加し、それぞれ予想値を下回る結果となりました。

なお、平成 28 年 12 月期の通期業績につきましては、平成 28 年 2 月 5 日に公表しました業績予想を変更しておりませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上